

令和3年度学校自己評価システムシート (県立日高高等学校)

目指す学校像	地域の期待に応え、社会で活躍できる生徒を育てる学校
--------	---------------------------

重点目標	1 授業改善を進め、基礎学力の向上を図る 2 基本的な生活習慣を確立させ、豊かな心身を育む 3 組織的・計画的な進路指導を充実させ、一人ひとりの進路実現を図る 4 地域・保護者との連携を深め、開かれた学校づくりを推進する
------	---

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。

※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者学校関係者	名
生徒	名
事務局(教職員)	名

学 校 自 己 評 価							
年 度 目 標					年 度 評 価 (月 日 現 在)		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	<p>【現状】授業研究や授業改善が進み、授業に満足している生徒の割合は向上している。資格取得に向けた補習体制が確立し、生徒は各種検定合格に向けて日々努力重ねている。</p> <p>【課題】配置されたタブレットやプロジェクターを活用し、オンライン授業等を推進する。基礎力診断テストを活用し、学習到達度を把握し、生徒の実態に即した授業展開をより一層推進する。</p>	<p>学習意欲を高め基礎学力を向上させ、高校生活の満足度を85%以上にする。</p>	<p>①教員相互の授業観察や研修会を通じて教員の授業力を向上させ、生徒の基礎学力の定着を目指す。</p> <p>②朝学習、タブレット、学習サポーター、全クラス配付の新聞4紙を活用して、学習意欲を育成する。</p> <p>③年2回の学校評価アンケート(6月、12月)を実施し、経年変化の調査を継続する。</p> <p>④学びの基礎診断の一環で基礎力診断テストを活用し、個々の学習到達度を把握し、個に応じた学習指導をさらに充実させる。</p> <p>⑤各種検定試験に挑戦させ、達成感と向上心を育成する。</p>	<p>①授業公開や研修会を実施できたか。授業満足度85%以上を達成できたか。</p> <p>②朝学習の実施状況。タブレット・学習サポーター・新聞を活用できたか。</p> <p>③「授業がわかる」、「授業に満足」の回答85%以上。学校生活への満足度が上昇したか。保護者の満足度95%以上を維持できたか。</p> <p>④基礎力診断テストの結果を基に基礎学力がどれくらい伸長したか。</p> <p>⑤検定試験の受験状況、資格取得状況。</p>			
2	<p>【現状】落ち着いた生活環境は整い、挨拶のできる生徒が増加している。多くの社会貢献活動とおして、地域への貢献度や存在感も高まってきている。</p> <p>【課題】基礎的な生活習慣を確立させるために、さらに段階的・組織的に指導を徹底する必要がある。部活動については、部員が定着するように継続的に指導し、部活動活性化へ向けた対応策を構築させる。また、実施できる社会貢献活動に参加し、自己有用感を持たせられるよう活動していく。</p>	<p>基本的な生活習慣を確立し、規律ある態度を身につけさせる。</p>	<p>①挨拶励行・時間厳守・整理整頓の目標を教室に掲示し、規律ある生活態度を育成する。</p> <p>②朝の挨拶運動を継続し、あらゆる場面で挨拶ができる生徒をさらに増加させる。</p> <p>③TPOに応じた服装指導等を学校全体で実施する。</p>	<p>①「ルールを守らせる指導」、「整理整頓」の回答90%以上。</p> <p>②教員は毎日、生徒会は週1回の挨拶運動ができたか。「挨拶をする」の回答95%以上。</p> <p>③登校時、全校集会時に実施できたか。</p>			
		<p>体験活動や社会貢献活動に積極的に参加させることにより、生徒の豊かな心身を醸成する。</p>	<p>①市や市商工会からのボランティア要請には、できるだけ応え、多くの生徒が地域に貢献できるように指導する。</p> <p>②地元小中学校との交流や見回り活動を実施する。</p> <p>③部活動や生徒会活動、学校行事等積極的に取り組みさせ、生徒の自立心と協調性を育成する。</p> <p>④部活動の加入率約60%を維持する。また、運動部は年間を通して単独で大会に出場する。</p>	<p>①生徒が何らかの社会貢献活動に参加できたか。</p> <p>②小中学校との連携回数とその内容。</p> <p>③生徒の各取組状況とその内容。</p> <p>④年間を通じて加入率約60%を維持できたか。各種大会に単独チームで出場できたか。</p>			
3	<p>【現状】各学年とも計画的かつ組織的に指導し、ほぼ全員の進路を確定できた。</p> <p>【課題】進路に対する意識が希薄な生徒がいる。将来働くことへの意識を高める工夫や機会をつくり、個々の生徒に応じた進路指導を徹底する。</p>	<p>計画的・組織的な統一した進路指導により、生徒全員の進路実現を目指す。</p>	<p>①3年間を見通した進路計画を策定し指導をしているが、さらに見直しを図りながら生徒に適した進路指導を実施する。</p> <p>②キャリア教育講演会を実施し、生徒の進路意識を向上させる。</p> <p>③保護者対象の進路行事や情報発信を工夫し、家庭の理解や協力をさらに強固にする。</p> <p>④生徒をオープンキャンパスや合同企業説明会に積極的に参加させる。</p>	<p>①計画的かつ組織的に指導できたか。進路未定者がゼロに近づいたか。</p> <p>②充実した講演会が実施できたか。</p> <p>③文書や一斉メールを活用できたか。</p> <p>④参加人数とその内容。</p>			
4	<p>【現状】文化祭や体育祭等の学校行事に参加する保護者は増加している。また、地元小中学校からの信頼関係も構築し、5年連続で入試倍率が1倍を超え、本校への関心もより高まっている。</p> <p>【課題】学年別懇談会、PTA総会等の行事をHP、安心メール、通知により周知参加者を増加する。学校説明会の内容をさらに充実させ、出前授業や公開講座を積極的に実施し、志願者の確保に向けた取組を学校全体で行う。</p>	<p>保護者との連携を深め、PTA活動をより充実させる。</p>	<p>①PTAだよりを年3回発行し、保護者への広報活動に努めるとともにホームページにも掲載する。</p> <p>②保護者会等あらゆる機会を通じて、一斉配信メールへの登録を呼びかける。</p> <p>③PTA理事会を通じて保護者同士のネットワークを構築し、保護者の学校行事への支援と参加を呼びかける。</p>	<p>①PTAだよりの発行状況。ホームページへの掲載状況。</p> <p>②一斉配信メール登録者95%以上。配信回数年間50回以上。</p> <p>③昨年度と比べて参加者が増加したか。</p>			
		<p>積極的な情報発信を行い、本校に対する理解度を高め、志願者数を増やす。6年連続入試倍率1倍超を実現させる。</p>	<p>①ホームページの内容を充実させ、更新回数年間300回、アクセス数1日平均950件を目指す。また、「日高高校だより」年6回発行を目標とする。</p> <p>②学校説明会の内容を充実させ、本校の魅力を積極的に発信する。</p> <p>③コロナ禍であるが、工夫しながら地域や地元小中学校との連携を深め、本校への理解啓発を進める。</p>	<p>①学校全体で協力し達成できたか。</p> <p>②学校説明会等への参加者が増加し、参加満足度が高まったか。</p> <p>③各取組の実施状況とその内容。</p>			

学校関係者評価	
実施日令和 年 月 日	
学校関係者からの意見・要望・評価等	